教育目標：◎目標を持ち自ら学ぶ意欲と創造性に満ちた生徒
◎心豊かで思いやりがある生徒
◎明るく健康でたくましい生徒
◎視野を広げ協働する生徒
◎地域を理解し地域に貢献できる生徒

R4年５月18日（水）

第５号

神原中学校 学校だより 剛健進取

文責
神原中学校
校長
大城美千代
TEL917-3407
FAX917-3427

何故掃除をするの？

本号では「何故掃除（そうじ）をするのか？」についてお話しします。校長先生は、掃除をすることは「自分作りへの修行」だと考えています。以下の四点を意識すると良いでしょう。

①掃除をすることは、自分自身の心を磨くことになる。

②何でも使えば汚れる。これを元のきれいな状態に戻すため。

③たかが掃除なかれ。自分を鍛えるもの。自分作りである。

④気持ちを込めて掃除するのと、ただ何となくするのとでは、いい加減な人間になるかどうかの将来が決まる。

特に、「トイレ」掃除がきちっとできる人は、必ず成長すると思います。何故なら、「トイレ」は最も汚れているところです。そこをきれいにできるかどうかは、とても大きな意味があることだからです。

人は、いつも見ているものに、心が似てくると思います。だから、身のまわりをきれいにしようと心がけていくことになるのだと思います。

心もきれいになっていきます。だから、心を磨くことも汚い所にいると、それが平気になってきて、どんどん荒（すさ）んでいきます。特に、「トイレ」は、見えないところが絶対に汚れています。だから、便器と同じ高さまで目線を下げて、必死になりふり構わずしないときれいになりません。それができる人だったら、どんな所に就職しても、絶対にいい仕事ができます。「目線」って大事ですね。

一所懸命に掃除をすると、今まで気づかなかったような汚れまで気づくようになります。そして、自分でキレイにした場所には愛着がわくと思います。そうすると、その場所に落ちている小さなゴミがあるだけでも気になるようになります。その繰り返しで、いろんなことに「気づく目」ができてくるんだと思います。気づく人は、自分だけでなく周りの人も幸せにしていることができるのです。「よく気づく人」と一緒に働いていると、本当に気持ちが良くなります。この神原中学校にもそういう人がもっと増えていくといいですね。

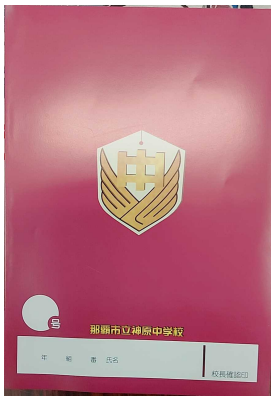
「神中ノート」達成へ向けて

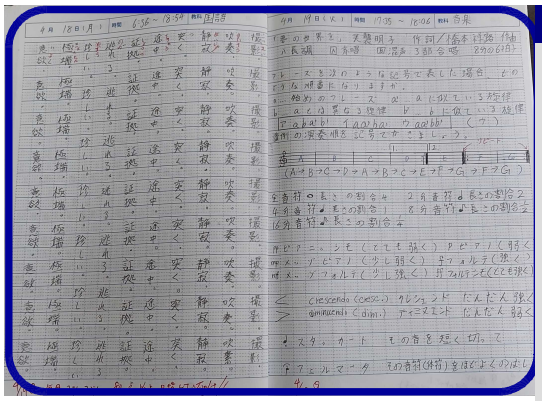
新年度が始まって、早や一ヶ月半が経過しました。私（校長）が、毎日、各学年の授業を観察していると、生徒一人ひとりが「めあて」達成に向かって「授業」に集中して取り組んでいます。また、「授業と連動した家庭学習」に必死に取り組んでいる様子がよく伝わります。

神原中学校では、独自の『神中ノート（家庭学習ノート）』を作成し、生徒に年間二冊まで配布をしています。二冊目以降は、各自で大学ノート等で継続するシステムです。

五月に入って続々と達成者が出ました。校長より、達成した「証」として、公印を押し、激励コメントと「合格（目標達成）への心構え＊右図参照（A４サイズ）」のプリントを配布しました。

これからも、自学自習（家庭学習）をする生徒がどんどん増えて、冊数（量）と内容（質）の両面から工夫改善を重ねていくとよいですね。きっと大きく成長できますよ。皆さん全員が、それぞれの目標を達成できるよう、大いに期待しています。





－神原中学校の皆さんへ－
－合格（目標達成）への心構え－

自立□集中□反復□努力□定着□合格

自立 誰かが教えてくれるという依頼心は持つな。
自分から進んで学習しようとする気持ちが大切です。人に頼っていては向上はありません。

集中 テレビならいつでも見られる。とりかかった勉強に徹底せよ。
勉強は中途半端な気持ちでは効果が上がりません。ねらいを定めて集中的に学習しましょう。

反復 過ぎた時間は戻らない。だが身に付いた学力は一生残る。
その時わかったつもりでも日が経つと忘れてしまいます。何回も繰り返して自分のものにしましょう。

努力 １つ惜しんだ努力は１００の後悔になって返ってくる。
学習にあきりは禁物。勉強に一歩一歩前進する心掛けが大切です。

定着 今の基礎がわからないものに明日の応用ができるはずがない。
学習に身についた実力はキミの財産です。どんな難問も基礎学力の応用で解決します。

合格 キミの努力は目標達成の４文字で報われる。最後まで気を抜くな。
目標達成への喜びはキミの人生の中で最初にぶつかる試練。勇気をもって立ち向かい乗り越えよう。

令和４年度　神原中学校　校長　大城美千代

-1-